



●議員は原則2期・最長3期で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp
https://tsukuba-net.jp



2022年10月31日 vol.73

つくば・市民ネットワークではアンケートで市民の声を集め、まちづくりの提案に生かしています。現在実施中のアンケートの中間まとめを行い、前市議・うののぶこと現市議の4人が話し合いました。

うの アンケートからどんなことが見えてきましたか？

小森谷 「公立高校が足りない！」という声が多いですね。TX沿線には、子育て世代が続々と転入していて、小学一年生が10クラス以上の学校もあります。今後さらに高校不足が深刻になります。なかには、「家を建てて引越してきたが通学できず高校が無いので、また引越しを考えている」という声もありました。

うの 市長も市議会も県に高校新設を要望していますが、知事の反応は鈍い。それどころか県立一高の中高一貫化で高校からの入学枠が減られました。県は土地が売れさえすればよいのか、移り住んだ住民の暮らしをどう考えて

市民の声が暮らしを変える！



公共交通をもっと便利に

高校が足りない

保健所・福祉

洞峰公園の自然を守って

アンケートから見えてきたこと

いるのか、聞いてみたいです。「住民に寄り添わないから魅力度最下位なのは」との声もありました。

皆川 公共交通についての意見も多いです。荃崎や高齢化が進む地域では、「そろそろ免許を返納したいが、返納したら生活できない」。また、TX沿線の地域では「高校に公共交通機関で通えない」と、公共交通の充実を求める声は各地で強いですね。

うの 団塊の世代が80代に近づき、公共交通の需要はますます増えています。市は荃崎・牛久駅のつくバス新ルートや、松代南部・二の宮・つくば駅の実証実験など工夫していますが、それでは追いつかないほどのニーズが市内各地で発生していることが改めて見えてきました。

あさの 洞峰公園の再整備についての意見も多いですね。「老朽化対策は必要」だが、「グランピングや樹木の伐採には反対」との声が多くありました。

川村 事業者を選定する前に地域住民と話し合う場を持つて欲しい。県の選定委員会でも、「市民の意見を聞く場は設けないのか」と複数の委員から指摘されていたことが、情報公開で入手した議事録から分かりました。

うの つくば市も課題山積ですが、市だけでは解決できません。暮らし続けられるまちづくりのために、県政も市民の声で変えていきましよう！

(※アンケートの結果は4面に)

街頭演説会

2022年12月26日(月) 12:30～
つくばセンター バスターミナル付近

つくば市議会議員
小森谷さやか



つくば市議会議員
あさのえくこ



つくば市議会議員
皆川ゆきえ



つくば市議会議員
川村直子



前つくば市議会議員
うののぶこ



茨城県議会議員選挙の
日程が決まりました

つくば市選挙区：定数5人
告示：12月2日

投票：12月11日(日)

TX沿線地区にコミュニティ施設を

TX沿線地区には交流センターや児童館などのコミュニティ施設が無いという問題があります。そこで市では次のように、その課題に対応しようとしています。

- ①市役所隣接のコミュニティ棟の1階を市民に開放する
 - ②新設校の児童クラブに市民が利用できる会議室を設置する（かつらぎ交流館、かとりだい交流館）
 - ③新設校の特別教室を市民が利用できるように開放する（研究学園小中、香取台小）
- ※ ②と③は市民ネットが提案して実現したもの

利用料減免対象の拡大を

市民が使いやすいものとなるよう、減免対象拡大の要望をしました。市民が市民のためにやっている活動をつくば市が4月にオープンしたかつらぎ交流館「応援しています!」というメッセージになると考えました。

例えばPTAの利用に関しては、今は本部会議のみ減免対象で、各地区の通学委員のミーティングなど、子どものため、地域の交通安全のために活動している保護者の集まりは対象としないところもあり、改善を要望しました。



また、社協ボランティアセンター登録団体は、地域おこしのイベントなど、広く市民を対象とする場合は減免となりますが、その準備のミーティングは減免になっていません。地域のつながりをつくろうとボランティアに活動している団体の活動が対象にならないことも併せて改善を要望しました。

上記の要望に対しては「全面的に見直していく」という答弁を得ました。

児童クラブ室の日中開放を

沿線地区の新設校には児童クラブ室が学校に隣接して建設されていますが、平日の昼間は利用がありません。そこで、児童館のように近隣の未就学児親子に開放してはどうかと提案しました。これについても「不可能ではないので検討したい」との答弁でした。

沿線地区に本格的なコミュニティ施設を

しかし、これらの取り組みは問題の緩和策であって解決策ではありません。流山市の例を紹介して、TX高架下を利用したコミュニティ施設の建設を要望しました。

市長からは、沿線地区にコミュニティ施設建設は必要と考えている、庁内連携会議で検討している、との答弁でした。引き続き提案していきます。



つくば市議会議員
文教福祉委員会副委員長
小森谷さやか

一般質問項目

- ・乳幼児期の子育て支援
- ・TX沿線地区のコミュニティ施設の今後
- ・自衛隊への名簿提供



身近にある緑の保全を！



つくば市議会副議長
都市建設委員会委員
皆川ゆきえ

一般質問項目

- ・森林の保全について
- ・荃崎保健センターの活用



豊かな緑は景観だけでなく、CO₂削減、生物多様性・快適環境の維持や水源涵養等、多くの機能を持っています。しかし、荒れた山林や伸びた枝木、落ち葉の問題等、近隣の住民からの苦情も少なくはありません。管理不全の主な理由としては、所有者が高齢化により整備ができない、または、伐採費用が高額で整備ができないということがあげられます。そのため、太陽光発電施設建設用に土地を売ってしまうケースも続出しています。

身近な緑や山林は広範な公益的機能を持っているわけですから、所有者だけに整備負担を強いるのは甚だ疑問です。市が今年度より開始した、里山整備推進事業は、希望する森林等の所有者と市が10年間の協定を結び、最初に市が森林環境譲与税を財源として樹木伐採などの整備を行い、その後10年間は所有者が整備をするというものです。この事業により一定の効果が期待できますが、10年に1度だけの樹木伐採では十分でないと考えます。適切な整備や保全が行えるよう、森林ボランティアの育成や、森林保全についての踏み込んだ議論を行うよう要望しました。



議会改革

決算審査から提言を提出

今9月議会の決算審査では、令和3年度の事業から重点事業を選び、各分科会で議論し、議会として市長に提言しました。

1年間の税金がきちんと使われたのかどうか、決算資料を審査して次年度予算編成に意見を出すことは、議会の大きな役割の1つです。

2018年までは、次年度の予算編成がほぼ固まっている12月に決算を認定していました。市民ネット前市議うののぶこが議会活性化委員長の際に、決算認定の時期を早め、議員全員の委員会とし、議会の意見を次年度予算に反映できるよう見直しました。

市民ネットは、今後も議会が二元代表制の役割をきちんと果たせるよう、議会改革を進めていきます。

2022年9月議会議決結果

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願」、「T X 駅周辺商業地域の容積率緩和の推進に関する請願書」は全会一致で採択されました。

議決の結果 (○：賛成、×：反対)		会 派 名		つくば・市民ネットワーク	つくば自民党・新しい風	自民党政清クラブ	公明党つくば	創生クラブ	日本共産党つくば市議団	つくばチェンジチャレンジ	清郷会	山中八策の会	新社会党つくば
議案第62号：令和4年度つくば市一般会計補正予算(第4号)	可決	×		○		○	○	○	×	○	○	○	○
旧統一教会及び関連団体による被害者の救済と実態解明を求める意見書	可決	○		×	○：ヘイズ	×	○	○	○	○	○	○	○
消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書を国に提出することを求める請願書	不採択	○		×		×	×	×	○	×	×	×	○
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表(議員数28 議長：小久保)		*小森谷、川村あさの、皆川		*黒田、長塚、神谷五頭、ヘイズ久保谷、(小久保)		*飯岡、宮本木村修、塚本鈴木	*小野山本浜中	*高野小村中村	*橋本山中	*川久保	*木村清	*塩田	*金子

「学校司書」を毎日すべての小中学校に!!

『学校司書』とは、「司書教諭（教員、学校に配置義務あり）」と共に、学校図書館の運営にあたり、資料の分類、提供、本の紹介等の専門技術を持つ職員です。配置は努力義務で、つくば市では学校司書をおいていません。かわりに『司書教諭補助員』が、配置されていますが、補助的な役割とされているため、勤務時間も近隣自治体に比べてかなり少ない状況です（表参照）。

学校司書の勤務時間と児童・生徒1人あたりの予算

自治体	学校司書の勤務時間（週あたり）		児童・生徒1人あたりの予算
	小学校	中学校	
牛久市	7.5時間 × 5日	7.5時間 × 5日	¥5,017
土浦市	5.5時間 × 5日	4.25～4.5時間 × 5日	¥2,938
守谷市	6時間 × 5日	4時間 × 5日	¥2,709
つくば市	4時間 × 3～5日	2時間 × 1日	¥1,110

※牛久市は、大規模校には週3日2人目のサポートがある
※つくば市の小学校は、児童数により勤務日数が異なる

とくに中学校ではわずか週1日、2時間の勤務です。「中学校の図書館はなぜあんなに古い本が、しかも数も少ないのか」と

いう保護者からの声をよく聞きますが、図書の適切な管理を行う時間がないことが原因の1つではないでしょうか。図書の廃棄、選書は時間と知識が必要で、週2時間でできる業務ではありません。

各自治体が『学校司書』にどれくらいお金をかけているかを生徒1人あたりに換算すると、つくば市はなんと2～5倍も差があります。

つくば市の学校図書館に今必要なのは『司書教諭』の「補助員」ではなく、適切な業務時間を確保された「学校司書」なのです。そうになってこそ、図書館が自ら学べる場所としての「学びのセンター」になっていきます。その実現を今後も求めていきます。

この他「学校給食に有機食材を」を質問し、有機農産物の生産が増えるのを待つのではなく、「有機でまかなうにはどれくらいの生産者や面積が必要か、そのためには何をすべきか」という方向から考えてほしい、と要望しました。



つくば市議会議員
総務委員会副委員長

あさの えこ

一般質問項目

- ・学校司書（司書教諭補助員）の拡充
- ・学校給食への地産地消及び有機食材の導入



つくば市議会議員
市民経済委員会委員

川村 直子

一般質問項目

- ・地域包括支援センターとひきこもりの課題
- ・洞峰公園

※ 80-50問題 ひきこもり相談支援の周知と充実を!

国の調査では、全国で115万もの人がひきこもり状態と推計されています。ひきこもりは表に出しづらく、支援に繋がりにくい課題です。昨年度、市内7か所の地域包括支援センターへの相談延べ約12000件のうち、1～2割程度は80-50問題といわれるひきこもりに関連する可能性があったとのこと。市ではひきこもりについてどう捉え、支援しているか、質問しました。

つくば市のひきこもり相談は、保健や福祉等の関係各課どこでも受け付けています。また、庁内はもとより「茨城県ひきこもり相談支援センター」（筑西市に設置）とも連携しながら、課題解決に取り組んでいます。2020年度にはひきこもり実態調査が行われ、半数以上が10年以上の長期に渡っていることが判りました。長期化する前に相談に繋がるには、相談窓口の認知度向上が大切なので、より周知に努めていくとの答弁でした。



茨城県ひきこもり相談支援センター 相談窓口

ひきこもりの発見に繋がりがやすい地域包括支援センターは、次年度より職員増員予定とのこと。一方、相談窓口のひとつである保健センターは、設置数が減らされているため、見直しを要望しました。

※80-50問題 親が「80」代、子が「50」代を迎えたまま孤立し、生活に行き詰まること。背景には家族や本人の病気、親の介護、リストラ、経済的困窮、人間関係からの孤立などがあり、複合的で、地域社会との繋がりが絶たれた社会的孤立の問題。

国ではひきこもり対策として既に全県に「相談支援センター」を設置しています。2022年4月からは市町村の設置にも補助金が出るようになったので、つくば市でも設置するよう要望しました。

さらなる実態把握とともに、「相談していい」「困っていると言っていていい」との、市からのメッセージが重要だと考えます。ひきこもり支援について、引き続き取り組んでいきます。

この他、グランピング建設等の洞峰公園再整備計画について質問しました。7～8月に県が行った住民アンケート調査の結果が未だ公表されていないため、市から県へ速やかに公表を求めるよう要望しました。また、「グランピング建設の許可は難しい」と強く申し入れるよう、あらためて要望しました。

小学校でフッ素のうがい、反対!



議案第62号補正予算で突然出てきた「フッ化物洗口」事業。有効性がはっきりせず、現場の負担を増やす事業であると考え反対しました。

フッ化Naの水溶液を用いて週に1回子どもたちにうがいをさせるのですが、水溶液を薄めてそれを紙コップに注いで子どもたちに配り、飲み込まないように注意しながらうがいをさせ、片付ける……こんな作業が、ただでさえ忙しい小学校の先生に振りがかります。希望しない生徒にはただの水を配るので間違いのないようするのも大変。茨城県教職員組合養護教員部にはフッ化物洗口を導入しないで欲しいという声が200近くも届き、組合として反対の声をあげています。

洗口液の危険性もゼロではありません。県の報告によると、昨年先行実施された学校ではうがい後に気分不良を訴え児童が不安そうだった、と答える担任教師が36.4%いたとの結果が出ています。

では有効性は？ フッ化物洗口を実施している自治体で虫歯本数が減ったと宣伝されていますが、併せて行う乳幼児期からの歯磨き指導、歯間掃除指導や生活指導、食事指導の効果が無視されています。実際に、殆どフッ化物洗口を実施していない県の虫歯が実施している県より少ない例もあり、各県の洗口実施率と1人あたり虫歯数に相関関係はありません。全体で虫歯保有率は減少しており、フッ化物洗口よりも虫歯の多い子どもへの個別支援をすべきと考えます。

旧統一教会に関する意見書可決!

安倍元首相が7月9日に銃撃されて以降、2世信者の被害問題と併せて、旧統一教会が自民党政権、ひいては国のあり方に大きな影響を及ぼしていたことが明るみに出ました。

しかし、調査は十分でなく、政府の曖昧な姿勢が政治への不信を招いています。地方議会への影響についても、市民の方々からご意見が次々と寄せられております。

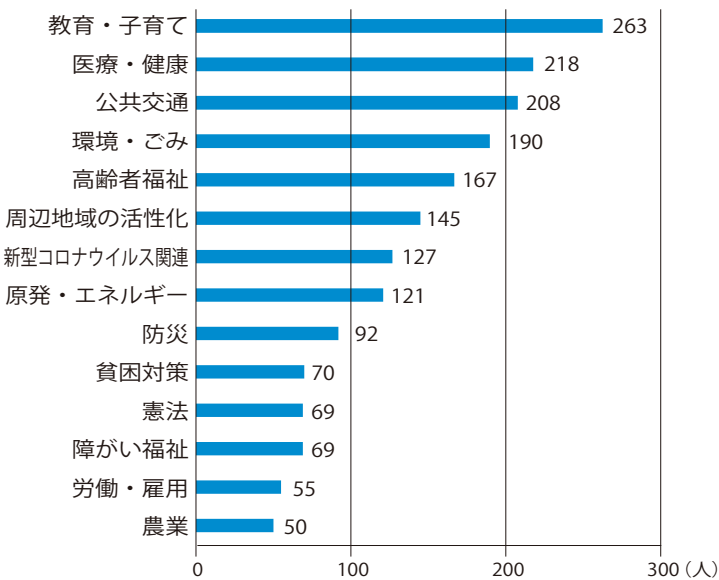
このことを受け、今9月議会最終日に市民ネットが提案者となり本意見書を提案、賛成19 反対8で国への意見書提出が決定しました（右の表参照）。

暮らしのアンケートで寄せられた声



地域によってさまざまな課題が届きました。
全ての掲載は難しいのですが、特徴的なご意見は右の通りです。
つくば・市民ネットワークでは、いただいたご意見を元に、市民の皆さんと共に解決に向けて取り組んでいます。

暮らしの中で特に気になっている項目 (2022年2月～9月 回答者723人 複数選択)



命と生活をまもるための 生活相談会

無料

日々の生活で、お困りの方はいませんか？
就労相談や生活保護などの公的支援は届いていますか？
相談会では、相談される方にマッチした解決策と一緒に探していきます。



と き: 2022年12月18日(日) 13～15時
ところ: つくば・市民ネットワーク事務所
主 催: 生活困窮ささえあい茨城

市民ネット3つのルール

- 議員は原則2期・最長3期で交代**
市民ネットの議員(代理人)は原則2期・最長3期で交代し、職業化・特権化しません。市政への参加の層を広げます。任期を終えた代理人は地域の活動にその経験を生かします。
- 議員報酬は市民の活動費**
市民ネットの活動はカンパで支えられています。議員も議員報酬の約半分を寄附し、調査・研究・学習など市民の活動費に使います。お金の流れは公開し、政治資金の透明化を図っています。
- 選挙はカンパとボランティアで**
選挙は政治参加の入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出しあって選挙を行います。

議員報酬を市民活動に活用しています

つくば・市民ネットワークの活動費

(2021年1月～12月)

【収入】	
前年度繰越	882万円
会費・寄附など	1616万円
【支出】	
人件費	469万円
光熱水費	42万円
備品・消耗品費	61万円
事務所費	476万円
総会・行事費	100万円
通信等作成費	202万円
調査・研修費等	53万円
寄附	10万円
その他	5万円

【次年度へ繰越】 1080万円

2021年1月～12月

寄 附
(約1,578万円)

代理人手当
(4人で 760万円)
+
税金、社会保険料等
(約599万円)

※ 法律に則り資金管理団体を通して寄附しています

つくば市議会



4人で
議員報酬 2,887万円
費用弁償(※)等 50万円



※費用弁償: 議員報酬とは別に、議員が議会や委員会に出席するときに、定額支給される旅費・交通費。